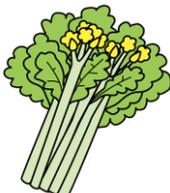


# 3月給食だより

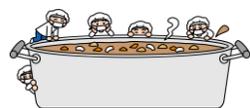


## 1年間の振り返りをしよう!



いよいよ3月、今の学年で過ごす日も残りわずかとなりました。皆さんは、日々の給食からどんなことを学んできたでしょうか？ この1年を振り返り、できたことをチェックしてみましょう。

<p><b>給食の前に手をきれいに洗えましたか？</b></p>	<p><b>食事のあいさつは心を込めて言えましたか？</b></p> <p>いただきます</p>	<p><b>おはしを正しく使うことができましたか？</b></p>
<p><b>よくかんで味わって食べられましたか？</b></p>	<p><b>バランスの良い食事のとり方がわかりましたか？</b></p> <p>バランス</p>	<p><b>自分に必要な量を考えて食べることができましたか？</b></p>
<p><b>地域でとれる食べ物を知ることができましたか？</b></p>	<p><b>行事食や郷土料理について知ることができましたか？</b></p>	<p><b>楽しい給食時間を過ごせましたか？</b></p>



お忘れなでね

卒業生はもうすぐ最後の給食です。これからも食べることを大切に!



# ひな祭りのおはなし



毎年3月3日は、女の子の健やかな成長と幸せを願い、お祝いをする「ひな祭り」です。ひな人形や桃の花を飾り、さまざまな願いを込めた料理やお菓子をいただきます。季節の節目となる五節句（五節供）の一つ「上巳（じょうし）の節句」でもあり、季節の花にちなんで「桃の節句」とも呼ばれます。



ひな祭りの始まりは、平安時代までさかのぼります。古代中国から伝わった「上巳節」という厄払いの風習と、貴族の女の子たちの間で流行した人形遊びが結びつき、人形に災いを移して川に流す「流しびな」の風習が生まれました。その後、豪華なひな人形を飾るようになり、江戸時代には一般の人びとの間へも広がっていき、現代のようなひな祭りが行われるようになりました。

## ご卒業おめでとうございます

「3年生のみなさんへ」

栄養士 渡邊 今日子

私に「俺ら同期だから」とよく言ってくれる子が3年生にいて、密かにこの言葉をいつもうれしく思っていました。栄養士は学校に一人しかいません。いつも一人の私が南中に異動してきて同期ができるなんて!とうれしく思っていました。あっという間に3年が経ち、たくさんの同期の卒業を見送る季節となりました。

3年生は1年生の時からとにかく元気いっぱい、わちゃわちゃしたよく食べる子たちという印象です。そしてとても人懐こい子たちで、給食の時間にしか会わない私にもすぐに慣れてくれました。1年生の時には学級閉鎖になったクラスのスパゲティを「麺だけでいける!」とモリモリ食べてくれて驚いたことを今でも覚えています。受験生になってお休みの人が増えても、登校した人たちが元気におかわりをたくさんしてくれました。受験生になると食べる量が減っていくのが毎年のことでしたが、今年は本当によく食べてくれて毎日うれしい気持ちになりました。

中学校を卒業すると生活圏も広がり、新しい環境や人との出会いが待っています。大人になっていくにつれて、人生の大きな分岐点に立ち、自分で考えて選択していくという場面がこれから何度もあるはずですが、自分にとって何が必要か、将来を見据えながら選んでいける人になってほしいです。

また、今まで知らなかった初めての「もの」や「こと」に出会い触れることで、好きなものを増やし、みんなの食と心が豊かになることを願っています。これからもその笑顔と素直な心で周りの人と絆（きずな）を結び、感謝と思いやりを忘れない人でいてください。

保護者の皆様におかれましては、日頃より南中の学校給食に対し、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。給食室への感謝と労いの言葉をお手紙にて届けていただくこともあり、私たちの心の支えとなっていました。そのような心温かい保護者のみなさんに出会えたことがとても幸せで、感謝しています。いただいた幸せな気持ちは、給食づくりを通じてこれからも子どもたちに還元していきます。たくさんの方に支えていただき、本当にありがとうございました。

少し早いですが3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

✿ 小学校から9年間食べた給食のことを覚えていてくださいね ✿

